

市町村名		座間味村				
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-①	座間味村海域安全隊事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ウ	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	座間味村内の3ビーチ(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)において、観光客が増加する4月から11月シーズンの海難事故防止及び安全確保を図るためにライフセーバーを配置する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a) 当初予算額	21,228	20,266	19,271	24,886
	(b) 予算現額	21,228	20,266	19,271	24,886	24,577
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 396
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	21,228	20,266	19,271	24,886	24,577
	B. 執行済額	21,143	20,266	19,270	19,018	24,576
	うち交付金充当額	16,914	16,212	15,416	15,214	18,583
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	99.6%	100.0%	100.0%	76.4%	100.0%
予算の状況の説明	当初応募のあった事業者が応募資格に該当しておらず、再度の公募をかけた事から、当初予定していた配置期間から配置する事が出来なかったため396千円の減額補正を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ライフセーバーの配置 ・古座間味ビーチ2名(7月8月は1名増) ・阿真ビーチ2名 ・北浜ビーチ2名	目標	(GW～10月末 常駐)	(GW～10月末 常駐)	(GW～10月末 常駐)	(4月22日～11月20日常駐)
		実績	4/13～11/30	4/18～11/15	ビーチ利用者が少ない日にはライフセーバー1名体制もあった。	7/1～11/20
達成状況説明	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	当初公募時に応募のあった業者が応募資格に該当しないことから辞退となり、再度公募を行ったが仕様内容に変更を生じた事から4月22日からの配置を行う事が出来ず、6月中に契約、7月1日より配置となった。7月1日～11月20日の期間において座間味村全域(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)を一般社団法人沖縄ライフセービング協会のスタッフが常駐し監視業務を行った。監視は2名を基本体制とし、繁忙期(7月～8月)においては古ザマビーチに1名増員し、7名体制とした。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
		目標	()	(0件)	(0件)	(0件)
	実績		0件	0件	0件	
	目標	()	()	()	()	()
実績						
進捗状況説明	村内3ビーチ(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)において、令和4年7月1日～11月20日の期間中、ライフセーバーを配置した。重篤な溺水事故等もなく、死亡事故を防ぐことが出来たため目標を達成したといえる。					

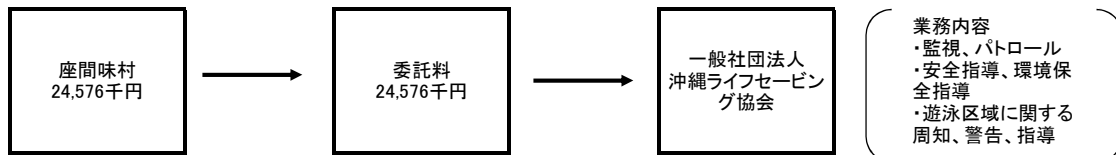
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	1回目の公募時に応募のあった事業者が応募資格に該当しない事から2回目の公募を行ったが、仕様内容の変更等に時間を要し、早急な契約に至らず、4月～11月の間配置を予定していたが、7月からの配置となり、大幅に遅れてしまった。繁忙期であるゴールデンウィーク期間の配置を行う事が出来なかったが、概ね達成出来たと考える。	当初公募時に仕様内容の検討を綿密に行い、当初予定期間での配置が行えるようにする。

今後の取り組み方針

令和4年度請負事業者との現場での改善点等を仕様内容に反映させ、各ビーチに2名以上の常駐させ、ビーチでの海難事故防止、安全確保を図り、質の良い環境の整備を行う事により、国立公園にふさわしい環境を提供できるようにする。
また、村消防団、診療所医師と連携し、勉強会や要救護者を想定した訓練の実施等の検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
24,576	24,576	18,583	5,993	0



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村にてプロポーザルを行い、採用業者と随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託事業者は資格等を考慮しており、水難救助という特殊性から妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○期間、人数から鑑みて適正な規模であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、用途については生産段階で検査を実施し、事業実施に必要なものであったと考える。

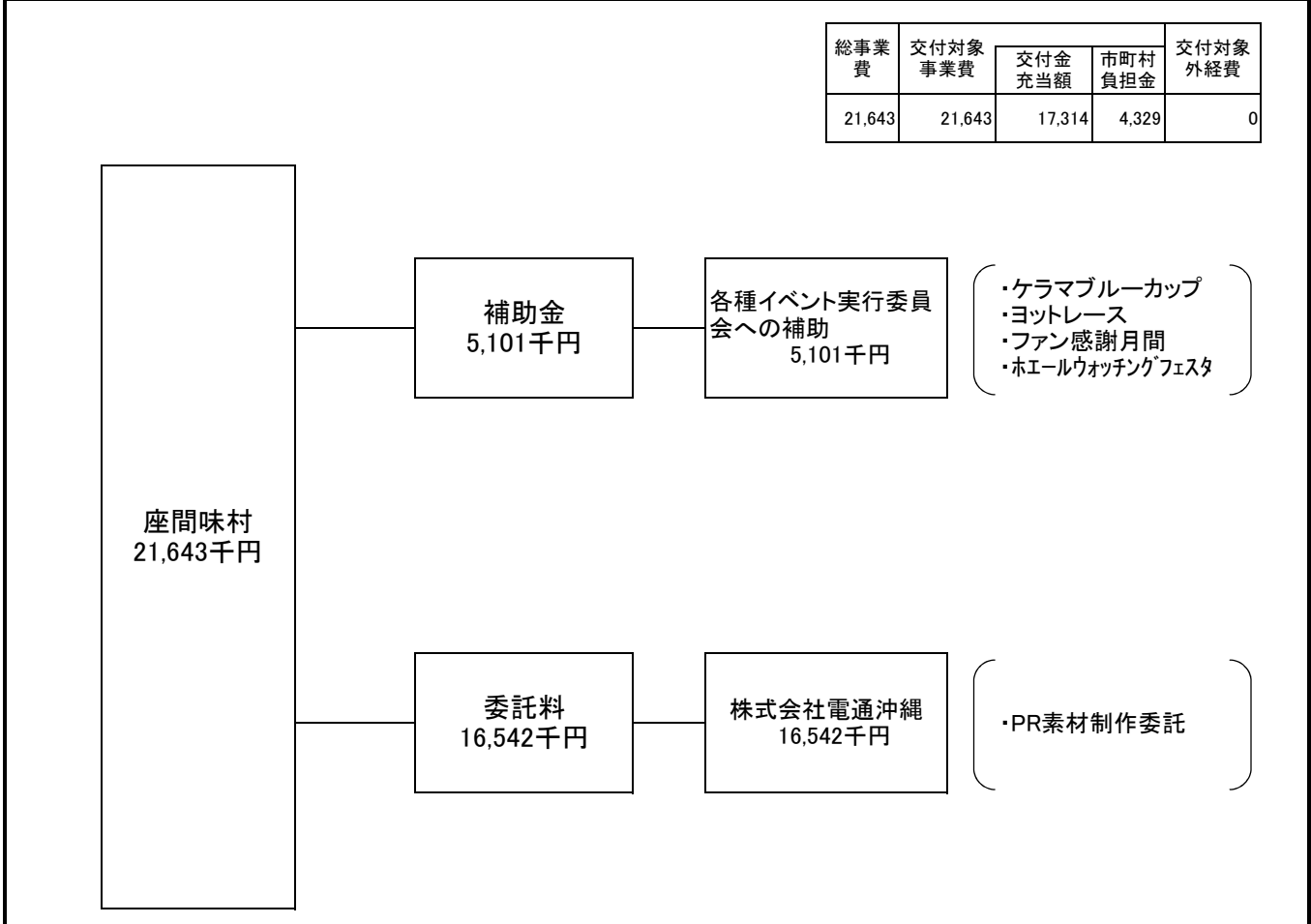
市町村名		座間味村				
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-②	座間味村がんばる観光支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内周知活動、PR素材の制作委託業務を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a)当初予算額	20,050	19,550	19,550	19,550
	(b)予算現額	11,050	19,550	12,977	5,650	23,592
	(c)増減額(b-a)	▲9,000	0	▲6,573	▲13,900	▲12,498
	(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)	11,050	19,550	12,977	5,650	23,592
	B.執行済額	9792	18201	11,143	3,204	21,643
	うち交付金充当額	7834	14560	8,914	2,563	17,314
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	88.6%	93.1%	85.9%	56.7%	91.7%
予算の状況の説明	県外PRイベントの未実施、村内イベントの中止のため12,498千円の減額補正を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や規模縮小により、1,949千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	各種イベントへの支援	目標	(イベント支援6件)	(イベント支援6件)	(イベント支援6件)	(イベント支援6件)
		実績	イベント支援6件	イベント支援3件	イベント支援2件	イベント支援4件
	県内外PRイベントの実施	目標	/	/	/	(イベントの実施)
		実績	/	/	/	未実施
PR素材の制作委託	目標	/	/	/	(PR素材の制作)	
	実績	/	/	/	制作完了	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、村内イベントは2件が中止(サバニ帆漕レース※島内レースのみ開催、座間味島祭)となったが、規模を縮小し、4件のイベント(ケラマブルーカップ、座間味ヨットレース、座間味島ファン感謝月間、ホエールウォッチングフェスタ)が開催され、補助を行った。 また、PR素材の制作委託業務を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
		目標	()	(112,000人)	(112,000人)	(112,000人)
	実績	/	45,175人	50,615人	75,413人	/
	目標	()	()	()	()	()
実績	/	/	/	/	/	
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止等により、入域客数は新型コロナ流行前の7割程度に留まり、目標を達成できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルス感染症が減少傾向となり、入域客数も徐々に増加傾向に転じているが、イベントの規模縮小やリモート開催となったことが新型コロナ流行前の7割程度の入域客数に留まった要因と考えられる。</p>	<p>今後のwithコロナ、afterコロナを見据え、感染症予防対策、新たな観光スタイルの確立を意識して取り組む必要がある。移動制限等も行われないことから、積極的に国県内外へのPR活動を検討する。</p> <p>・今年度、映像やスチール画像を媒体としたPR素材を作成。次年度以降は、SNS等での発信や各種イベントで活用してPR活動を展開する。</p>

今後の取り組み方針

今後のwithコロナ、afterコロナを見据え、安心・安全に楽しめる観光地を目指し、村内の観光コンテンツを充実させていき、感染症予防対策の推進にも取り組んで行く。
また今年度制作したPR素材やSNS等を活用した国内外へのPR活動にも力を入れて入域観光客数の回復を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、プロポーザル方式にて選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業規模に見合った範囲内で設定しており、妥当であると考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・新型コロナウイルス感染症の拡大により直近での開催内容の縮小、変更が発生したことによる不用額であることから適正な規模であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業内容や事業目的等から判断して妥当であると考えている。
			○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。

市町村名		座間味村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	座間味村観光受入拠点事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	年中無休の観光案内業とタイムリーな観光情報発信及び村内事業者への取次案内などをスムーズに実施し、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ支援を行い、観光客の誘客と満足度の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	18,282	16,398	16,660	15,504	16,722
	(b) 予算現額	18,282	16,398	16,660	15,504	16,722	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	18,282	16,398	16,660	15,504	16,722	
	B. 執行済額	16,235	14,566	13,863	12,034	14,383	
	うち交付金充当額	12,988	11,652	11,090	9,627	11,506	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.8%	88.8%	83.2%	77.6%	86.0%	
予算の状況の説明	不用額の2,339千円は新型コロナウイルスにより中止になった県外PR等のための出張費やイベントの規模縮小やオンラインでの開催等に伴う人件費の残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	観光案内所年中無給(台風時は閉鎖)	目標	(365日)	(365日)	(365日)	(365日)	
		実績	365日	365日	365日	365日	
	村内外誘客活動年8回	目標	(8回)	(8回)	(8回)	(8回)	
		実績	5回	0回	1回	4回	
観光事業者スキルアップ講座 新規メニュー開発4回 心肺蘇生講習会2回	目標	(8回)	(8回)	(8回)	(8回)		
	実績	5回	0回	1回	4回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 案内業務については、年中無休で実施出来た。コロナウイルス感染症の拡大により、港に仮窓口を設置した案内業務、電話による案内業務を実施した。 村内外の誘客活動については、8回を目標値としていたところ、新型コロナウイルスの影響もあり4回しか実施出来なかった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を、アンケートにより実施する。	目標	()	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	()
		実績		73.1%	80.2%	86.2%	
観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光業従事者へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する。	目標	()	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	()	
	実績		未実施	未実施	未実施		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 観光業従事者に対するおもてなし向上のための講習会は開催できなかった。 						

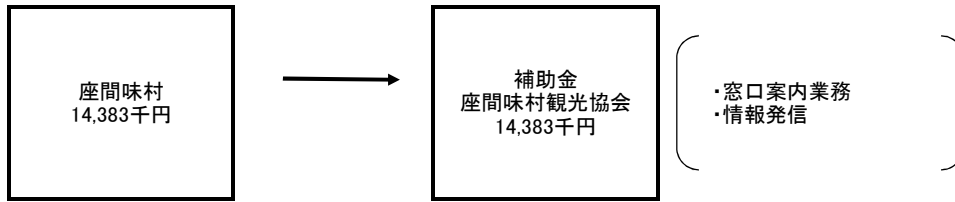
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	観光協会職員の人手不足が顕著であり、事業を推進するうえで体制強化が必要である。 また、新型コロナウイルスの影響により中止となっていたイベントの再開や、激減していた観光客数が徐々に回復傾向にある中で、運営ノウハウを備えたスタッフが退職等で少なくなっている。	より村と観光協会とで意見交換を行い連携を深めて事業を展開していく必要がある。 また未実施となってしまう観光事業者や各団体への講習会やアンケートを積極的に行い村内観光業全体の体制強化に繋げる。

今後の取り組み方針

村として引き続き観光協会への助言や意見交換を継続的にを行い、体制強化を行い、観光客の満足度向上へ繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,980	14,383	11,506	2,877	1,597



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的を達成するにあたり、観光協会以外に適した事業者は無いため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○業務内容に見合った予算規模であるといえる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は事業費の1割を自己負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については生産段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであると判断した。

市町村名		座間味村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-4-(ア)		
担当部署名	座間味村教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	座間味村は沖縄戦での米軍の上陸第一歩の地となっているが、沖縄県内においてもその事実はあまり知られていない。また、村内に多く点在する戦跡等を活用した事業等の取組についても十分ではない。村内各地に点在する戦跡等の説明板・案内看板、周辺の環境整備等を行うことにより、村内小中学生による平和学習、地域住民はもとより、観光客の方にも平和について学ぶ機会となり、村外・県外等の修学旅行生や、団体旅行者にも、戦跡等を活用した平和学習事業や取組を行うことができる。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度(未実施)	R4年度
	予算の状況	(a)当初予算額	53,605	24,382	0	0	5,830
		(b)予算現額	34,760	23,430	0	0	5,720
		(c)増減額(b-a)	▲18,845	▲952	0	0	▲110
		(d)繰越額	0	0	14,498	0	0
	A. 計(b+d)		34,760	23,430	14,498	0	5,720
	B. 執行済額		34,760	8,932	14,498	0	5,720
	うち交付金充当額		27,808	7,145	11,599	0	4,576
	次年度繰越額		34,760	14,498	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	38.1%	100.0%	0.0%	100.0%
予算の状況の説明		実施設計を委託。当初見込みよりも減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	
	平和の塔進入路の調査業務及び設計業務の委託	目標	(慶留間島内の戦跡等の周辺環境整備の実施)	(慶留間島内の戦跡等の周辺環境整備の完了)	()	(調査業務設計業務)	
		実績	工事請負契約・施工管理業務委託契約工事請負契約の前払金	環境整備工事・施工管理の完了		実施	
		目標	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	座間味地内 平和の塔の園路整備測量調査設計業務として、案内看板・説明看板設置及び進入路。周辺整備工事の発注及び施工管理委託発注を実施、完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(6年度)
	平和の塔進入路の調査業務及び設計業務の完了	目標	()	(完了)	()	(完了)	()
		実績		完了		完了	
	[R6成果目標] 修学旅行学校数 10校		目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	座間味地内 平和の塔の園路整備測量調査設計業務を実施、完了した。						

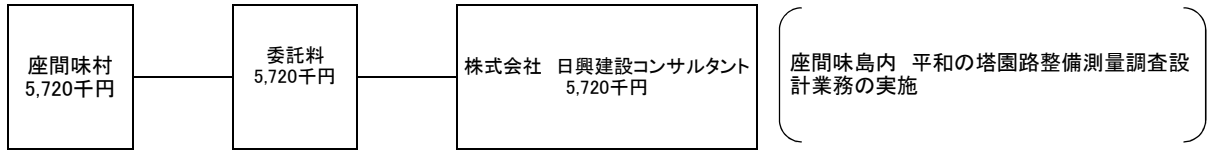
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>令和4年度 事業実施に伴い、利用者が安全に利用できるよう委託業者と調整。また、国立公園であるため、環境に影響を与えず整備出来るよう留意して進めた。</p>	<p>令和5年度、令和6年度は座間味島内の戦跡等の環境整備の工事を実施する。 実施後は下記のとおり取り組む。 ・戦跡に対する周知を徹底し、住民、観光客と多くの人の利用を促す。 ・新しく完成した戦跡を活用した平和学習・戦跡ガイドを計画し、村内各種団体と連携した企画を実施する。 ・平和未来プロジェクトと連携した戦跡ガイドマップを活用し、観光客への周知を図る。</p>

今後の取り組み方針

残る戦跡の整備事業を実施し、村全体で平和学習を行える環境づくりに取り組む。
令和5年度は座間味島内の躑躅の塔、集団自決の碑、昭和白虎隊の碑周辺の環境整備の工事を実施、令和6年度は平和の塔園路整備の工事を実施し完了する予定。
村内各種団体、宿泊施設、観光業経営者、住民に戦跡等の整備について周知し、村民だけでなく、観光客、修学旅行等を誘致する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,720	5,720	4,576	1,144	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額はなく、適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	座間味港緑地公園照明設備更新事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-イ		
担当部署名	座間味村教育委員会	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>村内のイベントでの活用や県内外のスポーツ団体の利用、合宿誘致を推進し、観光とは違う形での誘客を図ることを目的とし、本村の持続的発展、地域活性化に向けて、座間味港緑地公園グラウンドの照明設備の設置工事を行う。 現在、緑地公園グラウンドに設置されている照明設備については、台風による被害や老朽化により、使用が出来ない状況にあることから、撤去する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,189				
		(b) 予算現額	5,863				
		(c) 増減額(b-a)	3,674				
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		5,863				
	B. 執行済額		5,863				
	うち交付金充当額		4,690				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画時の予算よりも、見積もり額が高くなり増額。軽微な変更にて増額申請を行い事業間流用した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	実施設計の委託	目標	(実施設計)	()	()	()	
		実績	完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	座間味港緑地公園照明設備設置に係る実施設計を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	実施設計の委託完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	[R6成果目標] 利用団体数 5団体以上 イベント数 3回以上	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	令和4年度については、座間味港緑地公園照明設備の設置に係る実施設計を完了することができた。 令和5年度については、更新工事を実施、令和6年度には利用開始とする。					

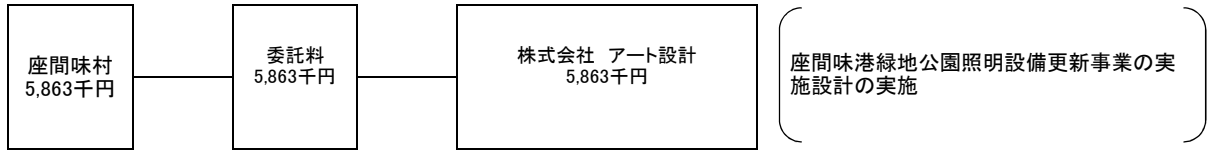
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>現在、緑地公園グラウンドに設置されている照明設備については、台風による被害や老朽化により、使用が出来ない状況にある。そのため、毎年開催している村内のスポーツイベント等の実施を中止している。また、劣化により照明設備の周辺を立ち入り禁止にしている箇所もある。</p> <p>また、県外からスポーツ団体の合宿を受け入れているが、夜間のトレーニングについては、照明が使えないため支障をきたしている。</p>	<p>令和5年度は座間味港緑地公園照明設備の設置工事を実施する。実施後は下記のとおり取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体協等の村内のスポーツイベントの実施 ・県内外のスポーツ団体の合宿誘致 ・住民向け国保事業等の実施

今後の取り組み方針

令和5年度に座間味港緑地公園照明設備の設置工事を実施し、令和6年度には利用開始とする。
 現在、中止している体協等のスポーツイベントの再開、県内外から来るスポーツ団体の合宿のトレーニング会場としての利用開始、住民向けの健康促進事業の開催等の取組を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,863	5,863	4,690	1,173	



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額はなく、適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-1-(3)			
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 III-9			
事業内容	離島交通ネットワーク手段の確保として、船舶欠航時やダイヤ変更時にチャーターヘリコプターを利用した際の運賃の一部を補助する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000	6,000	2,760	2,160	3,300	
		(b) 予算現額	1,740	3,000	2,100	2,160	4,300	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 4,260	▲ 3,000	▲ 660	0	1,000	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)		1,740	3,000	2,100	2,160	4,300	
	B. 執行済額		510	1,740	1,470	1,080	3,750	
	うち交付金充当額		408	1,392	1,176	864	3,000	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		29.3%	58.0%	70.0%	50.0%	87.2%	
予算の状況の説明		増額について、11月までのフライト数は前年度に比べ17フライトも増だったことから、12月以降も増加が見込まれたため、当初見込みの年間フライト数66フライトより20フライト増して1,000千円増額した。不用額について、増額時に想定していたフライト数に達しなかったため不用額が発生した。コロナウイルスの影響が収まらなかったことが原因と考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	村営船舶航路欠航時等におけるチャーターヘリコプター費用の支援実施		目標 (支援)	(支援)	(支援)	(支援)		
			実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	慶良間空港～那覇空港間の運行回数75回分の運賃の一部支援を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	利用者アンケートを行い、「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		99.2%	99.1%	99.5%	
			目標	()	()	()	()	()
		実績						
進捗状況説明	アンケート調査の結果、回答のあった218件のうち、183件が「大満足」、9件が「やや満足」、26件が「満足」といった回答であった。利用者の満足度は非常に高く、主に船舶欠航時の代替の移動手段があること、船に比べ移動時間の短縮になることに対し、利便性が図られたといった感想が多く寄せられた							

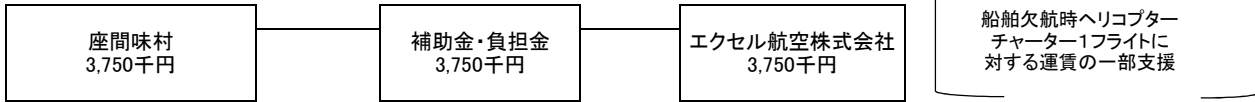
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(利用客の満足度) ・利用者アンケートの満足度は高く、船舶欠航時の代替移動手段として高い評価を得ている。 (入客利用数) ・当初の予定フライト件数は達成したが、増額後の予定フライト件数に達しなかった原因として、近年の新型コロナウイルス感染症の影響によりフライト数が予測が立てづらいと考えている。	(利用客の満足度) ・アンケート結果の分析等を行い、引き続き利用者から高い評価を得ることが出来るよう努める。 (アンケート結果の分析による利用客層について) ・今年度は日本人客の利用しかなく、外国人の利用がないため、もっと周知する必要がある。

今後の取り組み方針

(本事業についての情報発信について)
 ・アンケート結果の分析したところ、外国人の利用客が少ない。外国人へも多く利用してもらえるよう補助機関とも連携をとりながら知名度をあげる。
 ・引き続き、村及び観光協会HPでの情報発信を強化する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,750	3,750	3,000	750	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内においてヘリコプターによる輸送業務を行う事業者は当事業者しかなく、補助先として妥当である。 ○不用額550千円が生じたが、新型コロナウイルス感染症の影響も下降傾向にあり、予算規模は適正である。 ○受益者負担は最大5人利用時に高速船の那覇発往復料金と同等となっており、妥当である。 ○事業の用途については、実績報告、額の確定時において書類等により確認しており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	座間味村自動車航送運賃低減化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島～座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,462	4,199	4,199	3,854	4,218
		(b) 予算現額	4,462	4,199	4,420	4,678	5,220
		(c) 増減額(b-a)	0	0	221	824	1,002
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	4,462	4,199	4,420	4,678	5,220	
	B. 執行済額	4337	4077	4420	5,092	5,885	
	うち交付金充当額	3469	3261	3535	4,073	4,708	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	97.1%	100.0%	108.8%	112.7%	
予算の状況の説明	当初の想定よりも自動車航送が多かったため、1,002千円の増額補正を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	車両航送運賃の低減化支援	目標	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	
		実績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初想定していた車両台数より多く運賃低減化支援を行うことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答80%以上を目標とする。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		75.0%	82.0%	82.6%	
	沖縄本島へ移動しやすい環境を構築する	目標	()	(594台)	(601台)	(587台)	()
		実績		587台	645台	688台	
進捗状況説明	アンケートを実施し、94件中76件が満足しているとの結果であった。(満足度82.6%)						

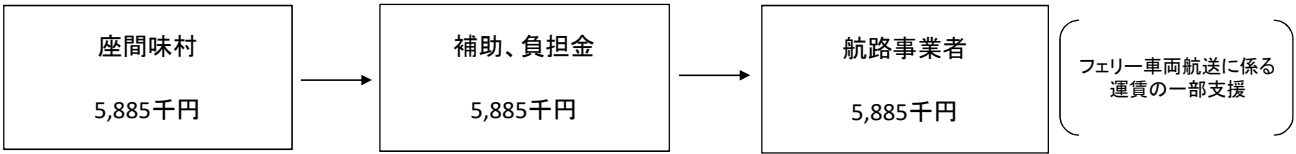
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・利用者アンケートの結果、利用者満足度は目標の80%に届いた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、支援台数は例年と比べ減少するかと思われたが、本島での公共交通機関の利用を控え、安全な移動手段として自家用車を使用するために車両航送を利用する方もおり、支援台数は当初の想定より100台程度多かった。 (4月 49台、5月 50台、6月 65台、7月 41台、8月 65台、9月 38台、10月 64台、11月 63台、12月 88台、1月 52台、2月 60台、3月 53台)</p> <p>満足度、輸送台数とも目標値を達成しているが、要綱変更後もアンケート内容が変更されていない為、見直しが必要である。</p>	<p>要綱の変更に伴い事業者も利用可能となり、より多くの住民の経済的負担を軽減することが出来た。今年度の検証結果を踏まえ更なる利便性の向上に努める必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・本事業が沖縄振興特別推進交付金を活用した事業であること、離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るために車両航送運賃の一部を支援している事業であることを利用者に再認識してもらうため、アンケートに事業内容を記載したり、補助が適用されない場合の正規運賃を記載する等、アンケートの記載内容を工夫し利用者の満足度向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,885	5,885	4,708	1,177	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先については、航路事業者が1事業者しかないため妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適正な規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者については、5割を負担し実施要綱どおりの負担割合であり、事業内容からも妥当だと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○座間味村自動車航送運賃低減化事業の実施要綱に定めたものに限定し執行している。

市町村名	座間味村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	座間味村冬季船運賃低減化実証実験事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ		
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	令和4～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	観光客誘客を図り、観光客の増加＝旅客の増加により、村民の生活に欠かすことの出来ない航路事業の安定化を図るため、冬季(1月～3月)の閑散期における那覇発の船舶運賃を低減化する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,085				
		(b) 予算現額	12,805				
		(c) 増減額(b-a)	3,720				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計(b+d)	12,805					
	B. 執行済額	10,244					
	うち交付金充当額	0					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	80.0%					
予算の状況の説明	当初の想定よりも入域客数が多かったため、3,720千円の増額補正を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	冬季(1月～3月)における船舶運賃低減化	目標	(支援の実施) ()				
		実績	支援の実施				
		目標	()				
		実績					
達成状況説明	当初の想定より入域客数が多く目標数値以上の運賃低減化支援を行うことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	1月～3月旅客数:8,000名以上	目標	()	8000名		()	()
		実績		13,017名			
	1月～3月売上:3,400万円以上	目標	()	3,400万円		()	()
		実績		6,084万円			
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、入域客数が落ち込んだ直近2年と比べ同程度かと思われたが、観光需要喚起策の全国旅行支援等もあり 当初の想定より多くの観光客が来島した。 (1月 3,049人・15,238,740円)、(2月 3,707人・16,234,620円)、(3月 6,261人・29,372,180円) 合計 13,017人・60,845,540円					

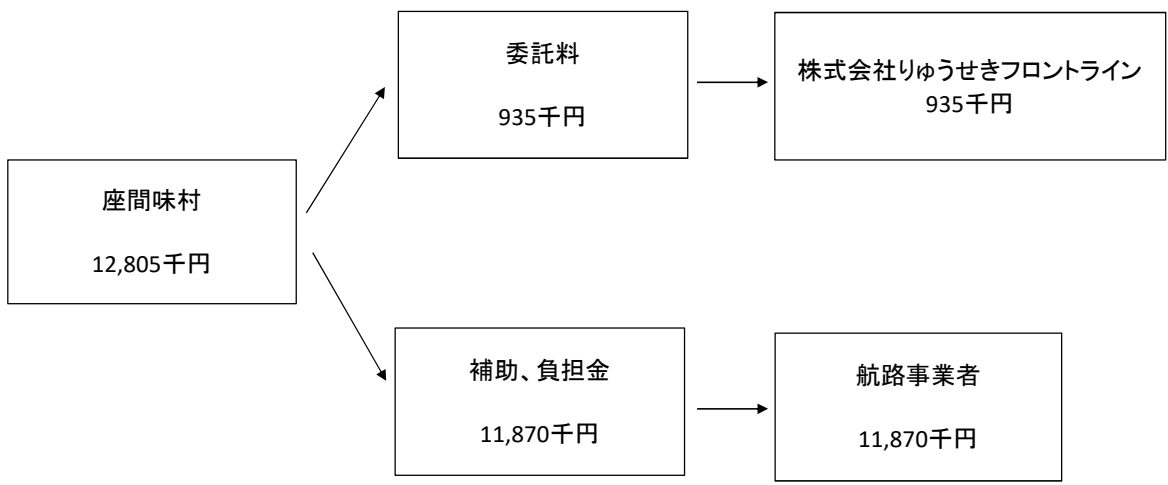
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	目標値を達成することが出来たが、全国旅行支援等の要因もあった為、乗船料の冬季低減による入域客数の増加となるのか次年度以降も引き続き検証を行う必要がある。	目標数値以上の結果となり、より多くの観光客の経済的負担を軽減することが出来た。乗船して初めて知ったとの声もあったことから広報等については改善の余地がある。今年度の検証結果を踏まえ更なる利便性の向上に努める必要がある。

今後の取り組み方針

・目標数値は達成したものの、全体の入域客数からすると平準化が図れているとは言えないので、村HP、SNS等での告知を更に充実させ冬季観光客の増加と年間観光客数の平準化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,805	12,805	10,244	2,561	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○既存システムを活用した改修の為、地方自治法167条2第1項第2号に基づき随意契約を行った。補助先の航路事業者については1事業者しかないので妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適正な規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者については、8割を負担し実施要綱どおりの負担割合であり、事業内容からも妥当だと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○座間味村冬季船運賃低減化実証実験事業の実施要綱に定められたものに限定し執行している。